

2. 藻類

(1) 調査概要

1) 調査方法

レッドデータブック作成のための現地調査の結果を基にして、希少な種や学術上重要な種の分布、地形的特性、環境特性などを考慮して選定した。

2) 調査結果の概要

淡水藻類について、絶滅危惧 I A 類 (CR) としたスイゼンジノリ、オキチモズク、絶滅危惧 I B 類 (EN) としたチスジノリのうち、保護区を設定して管理されているスイゼンジノリ以外の 2 種について選定した。

今回選定した 5 ヶ所のうち、志津川と加勢川、球磨川支流は近くに湧水がある清流で、生育地は河岸の木陰で適度な照度となっており、オキチモズクの生育に特に適した環境である。また、菊池川と球磨川も清流であり、チスジノリの生育に適した環境である。具体的には、加勢川ではオキチモズクに加えて希少種のチャイロカワモズク、アオカワモズクも生育していた。また、オキチモズクの国指定発生地志津川ではアオカワモズクも生育していた。さらに、錦町の球磨川支流では数百株以上ものオキチモズクが健全に生育しており、県下最大の生育地と思われる。チスジノリについては、国指定発生地山鹿市菊池川の調査地では 1～数十株が生育しており、錦町球磨川の調査地では 1～数十株の個体が生育していた。

海藻類については、絶滅危惧 I A 類 (CR) としたアサクサノリのみ選定した。アサクサノリは天草市河浦町の干潟にごく少数生育している。他の海藻についてはこの 20 年間、まったく生育確認できず、情報不足 (DD) とした。

3) 今後の課題

国の天然記念物指定エリアである南小国町志津川・山鹿市菊池川は保護されているが、熊本市加勢川・錦町球磨川および球磨川支流はなんの指定もされておらず、今後この区域内における河岸の樹木伐採・河川改修・護岸工事などの影響が懸念される。それらを回避できるような保全措置が求められる。回避が困難な場合でも、事前事後調査など実効性ある保全措置が講じられる必要がある。今回選定した区域はそれぞれ特有の環境と生物種が見られる場所であり、これらの生物が生育できる環境を守っていく必要がある。

(2) 藻類群落の解説

5 ヶ所について、以下で解説する。

1 熊本市加勢川

熊本市

熊本県カテゴリー

3 対策が必要

【保護対象種】

オキチモズク(CR)、チャイロカワモズク(NT)、アオカワモズク(NT)

【選定基準】

B 国内の若干の地域に分布するが、極めて稀な群落または個体群

G 乱獲その他人為の影響によって、県内で極端に少なくなるおそれのある群落または個体群

H その他、学術上重要な群落

I 熊本県版RDB・RLにおいて絶滅危惧又は準絶滅危惧とされる種を主要な構成要素として含むもの

【概要】

加勢川上流(藻器堀川)は普段は水量がごくわずかの水無川であるが、大雨の度に大量の水とゴミが流れ込んで来る。しかし、水前寺公園からの豊富な湧水によって清流が保たれている。ここには、日本特産の淡水産紅藻オキチモズク(CR)などの希少な藻類が多く生育している。

【現状】

日本特産の淡水産紅藻であるオキチモズク(CR)が数十～数百株生育しており、チャイロカワモズク(NT)やアオカワモズク(NT)も生育している。

2 南小国町志津川

阿蘇郡南小国町

熊本県カテゴリー

3 対策が必要

【保護対象種】

オキチモズク(CR)、アオカワモズク(NT)

【選定基準】

B 国内の若干の地域に分布するが、極めて稀な群落または個体群

G 乱獲その他人為の影響によって、県内で極端に少なくなるおそれのある群落または個体群

H その他、学術上重要な群落

I 熊本県版RDB・RLにおいて絶滅危惧又は準絶滅危惧とされる種を主要な構成要素として含むもの

【概要】

志津川(満願寺川)は南小国町満願寺を流れる貴重な清流で、河岸から湧き出る温泉水を含む小水流である。ここには日本特産の希少な淡水産紅藻類オキチモズク(CR)が生育している。1959(昭和34)年7月1日付で国の天然記念物に指定されている。

【現状】

オキチモズク(CR)が紅褐色の糸筋のようにして川底の岩に付着して生育しており、その数は数十～数百株である。

3 錦町球磨川支流

球磨郡錦町

熊本県カテゴリー

3 対策が必要

【保護対象種】

オキチモズク(CR)、アオカワモズク(NT)

【選定基準】

B 国内の若干の地域に分布するが、極めて稀な群落または個体群

G 乱獲その他人為の影響によって、県内で極端に少なくなるおそれのある群落または個体群

H その他、学術上重要な群落

I 熊本県版RDB・RLにおいて絶滅危惧又は準絶滅危惧とされる種を主要な構成要素として含むもの

【概要】

球磨川は九州中央山地に源を発し、球磨郡・人吉市・八代市を貫流して八代海（不知火海）に注ぐ県南部最大の一級河川である。この河川の中流域の錦町の支流には、オキチモズク(CR)が生育している。

【現状】

1,000株以上のオキチモズク(CR)が生育しており、現状ではここが県内最大の生育地と思われる。アオカワモズク(NT)も生育している。

4 山鹿市菊池川

山鹿市

熊本県カテゴリー

3 対策が必要

【保護対象種】

チスジノリ(EN)

【選定基準】

B 国内の若干の地域に分布するが、極めて稀な群落または個体群

G 乱獲その他人為の影響によって、県内で極端に少なくなるおそれのある群落または個体群

H その他、学術上重要な群落

I 熊本県版RDB・RLにおいて絶滅危惧又は準絶滅危惧とされる種を主要な構成要素として含むもの

【概要】

菊池川は菊池・山鹿・玉名地方を流れて有明海に注いでいる県北部の一級河川である。この河川の中流域に架かる国道3号線の山鹿大橋～分田橋の約2kmの間には、日本特産の希少な淡水産紅藻チスジノリ(EN)が生育している。1959(昭和34)年10月10日付けで国の天然記念物に指定されている。

【現状】

チスジノリ(EN)は南方系の藻類で、九州中南部だけに分布している固有種である。この紅藻は清らかな水流の川底に生育している。冬に発生し、夏にはその姿は見ることができない。

5 錦町球磨川

球磨郡錦町

熊本県カテゴリー

3 対策が必要

藻類

【保護対象種】

チスジノリ (EN)

【選定基準】

B 国内の若干の地域に分布するが、極めて稀な群落または個体群

G 乱獲その他人為の影響によって、県内で極端に少なくなるおそれのある群落または個体群

H その他、学術上重要な群落

I 熊本県版RDB・RLにおいて絶滅危惧又は準絶滅危惧とされる種を主要な構成要素として含むもの

【概要】

球磨川中流域の錦町の木綿葉橋付近は、球磨川本流と川辺川との合流地点のすぐ上流である。この木綿葉橋付近には、日本特産の希少な淡水産紅藻チスジノリ (EN) が生育している。

【現状】

以前は1,000株以上が生育していたが、近年その数は減少傾向にある。

(3) 文献

1. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (1992～1996) 熊本県における希少野生動植物の実情と保護方策. 熊本県環境保全課.
2. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (1998) 熊本県の保護上重要な野生動植物 - レッドデータブックくまもと -. 熊本県自然保護課.